

公益社団法人 横浜市幼稚園協会発行  
〒221-0055  
横浜市神奈川区大野町1-25  
横浜ポートサイドプレイス アネックス5F  
電話 045 (534) 8708  
http://www.kids-yokohama.or.jp  
編集 横浜市幼稚園協会広報部  
発行者 木元 茂  
印刷所 合資会社横浜大気堂

# 協会報 浜私幼

園長・設置者版

No.260

- ▼横浜市子ども・子育て会議報告
- ▼新年意見交換会
- ▼東京都市大学人間科学部と連携・協力
- ▼防犯危機管理研修会報告



## 横浜市子ども・子育て 会議報告

公益社団法人 横浜市幼稚園協会 会長 木元 茂

新年が明けてすぐの1月6日、横浜市の子ども・子育て会議が開催されました。ここに至るまで保育・教育部会は10回開催され、12月22日の部会は、夕方5時半から4時間以上の会議となりましたが、その討議内容も盛り込まれた「横浜市子ども・子育て支援事業計画原案」についての親会議での審議となりました。横浜市内の保護者のニーズを踏まえ、今後5年間の様々な分野の子育て支援の内容や実施方法、供給量の見込みを策定した計画案です。報告によると、今回のパブリックコメントの募集に関しては、子育て中のお母様同士がfacebook等を利用して1500件以上の意見を提出し、地域子育て支援拠点間の連携でも多くの意見の提出がなされ、総計で2400件もの意見が集まったとのこと。会議での有識者や事業者の意見だけでなく、市民の意見もしっかり取り入れて、素案が修正されています。

今回の原案で協会加盟園の皆さんに関わりがあるのは、保育所型認定こども園の認定をどうするか

という点です。27年4月以降、すべての認定こども園の認定事務を横浜市が担う予定ですが、幼保連携型以外の認定こども園は、幼稚園型も保育所型もそれぞれの認可基準を満たしていれば、移行を希望すれば認定されてしまうルールになっています。

そうすると、園庭の無い駅近くの認可保育所でも、認定こども園として認定されてしまうのです。さらに問題は、保育所型認定こども園は必ず1号認定の枠を設定しなければならないため、1号認定は幼稚園だけと思っていたら、保育所も1号認定が受入れ可能となり、将来子どもが減少してくると幼稚園と保育所の間で、3～5歳児を取り合うことも予想されます。

そうならないためにも、保育所型認定こども園に関しては、園庭をしっかり整備していることを条件としたり、当該行政区の1号認定の枠が現状で充足しているのなら認定しないなど、しばらく様子を見ることになりました。さらに、現状の待機児童の状況も踏ま

えると、2号3号の枠を削ってまで1号認定の枠を保育所で作ることはいかがなものかということになり、平成27・28年度は保育所型認定こども園の認定は据え置きとして、市民ニーズや幼保連携型への移行状況などを踏まえ、29年度に保育所型の認定について再度検討をしようということになりました。

保育所団体の先生方によると、保育所も認定こども園になりたいという希望は多いとのこと。幼稚園は認定こども園に移行できるのに、保育所は認定こども園に移行できないという状況はいつまでも続くとは思えませんので、各園で今後の5年、10年の経営計画をしっかりと策定していただく必要があると感じました。





# 新年意見交換会開催

平成27年1月28日(水) ●ロイヤルホールヨコハマ



林文子横浜市長



木元会長

横浜市幼稚園協会と父母の会連合会主催の新年意見交換会が、1月28日(水)ロイヤルホールヨコハマにおいて開催された。公務多忙にもかかわらず林 文子市長をはじめ、行政各方面の方々、国会・県会・市会の各議員の皆さま、養成校の先生方をご参会くださった。そして今年は例年に増して多くの園長・設置者が出席し、改革の年の意気込みを内外に示した。

初めに木元茂横浜市幼稚園協会会長が挨拶に立ち、「林市長をはじめ行政や議員の方々の努力があってこそ補助金も交付される。改めて感謝申しあげ、今後ともお力添えをお願いしたい。」と述べた。続いて杉本周子<sup>いちげついちじつ</sup>父母の会連合会会長が登壇し、『一月一日』を声

高く独唱し、横浜のお母さんのエネルギーな姿をアピールして会場の雰囲気大いに盛り上げ、挨拶では就園奨励補助金へのお礼とともに今後益々の支援をお願いしたいと挨拶した。そして林文子市長からは、「横浜の幼児教育の全てを担っている私立幼稚園の皆さまに感謝する。さらに横浜型預かり保育の実施園も170園に増え、子育て支援への協力体制もこれまで以上に強化された。今後とも宜しくお力添えをお願いしたい。」とのご挨拶があった。この後、各議員、行政、養成校、他協会、父母の会の方々から一言ずつご挨拶をいただき、渡邊眞一前県連合会会長のご発声で乾杯し、幼児教育への貢献を誓い合った。



杉本周子父母の会会長



佐藤祐文横浜市会議長



議員団



## 東京都市大学人間科学部と連携・協力

2014年12月22日、ようちえん会館において、横浜市幼稚園協会と学校法人五島育英会東京都市大学人間科学部との間で、連携・協力に関する協定書の調印式を行いました。

この協定は、協会と東京都市大学が協力して、幼稚園教諭育成、幼児教育課題についての調査、研究等を実施することを通じ、就学前教育の質の向上に寄与することを目的としています。具体的活動としては、

| 連携・協力事業                    | 幼稚園協会の役割    | 東京都市大学の役割     |
|----------------------------|-------------|---------------|
| 実習・インターンシップ等の幼稚園教諭育成に関わる事業 | 学生の受け入れと指導等 | 事業の企画及び学生の派遣等 |
| 幼児教育学、児童学等に関わる事業           | 調査研究への協力    | 調査研究の企画と実施    |

上の表のような役割分担となっています。

平たく言うと、学生が幼稚園教諭を魅力的に感じ、将来の就職先として意識するためには3年次の教育実習だけでは難しい。従って、1年生2年生の時期に、インターンシップ・ボランティアを通して幼児理解を深め、さらに先輩の教諭が生き生きと働いている姿を見ることで、「幼稚園教諭になりたい！ 横浜の幼稚園に勤めたい！」という思いを持っていただきたいということです。

学生にとっても、5日間で1単位として認定されること、また卒業論文作成のためにも貴重な現場体験が可能なことにメリットがあります。幼稚園側にとっても就職の可能性がある学生と早い時期から交流が持てるので、将来の採用に向けても大きなチャンスです。また、授業の一環ですので園としての経済的負担はなく、教育実習のような負担もありません。今後、本事業にご協力いただける幼稚園を募らせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

最後に、これまで園長先生方が養成校と独自で行っているインターンシップ・ボランティアがございましたら、今回のように協会全体としての協力・連携にレベルアップすることで、WIN WINの関係を構築できると考えていますので、本事例をご案内いただければ幸いです。

### 東京都市大学

東急線等々力駅にある旧東横女子短期大学が同じ学校法人五島育英会の武蔵工業大学と平成21年に合併し、東京都市大学となる。人間科学部は1学年100名。在学生は都内と神奈川県内出身が多い。



## 横浜市幼稚園就職フェア

幼稚園協会はこれまでに県内外の養成校を訪問し、就職ガイダンスを行って幼稚園で働くことの魅力を伝えていきます。近年、保育所の増加にもともしない幼稚園教諭の人材確保が難しくなっております。そこで、深刻化しはじめている現状を少しでも改善するために、幼稚園教育の良さと教員としての働き方等の紹介を含め、学生にさらにアピールする場が必要と考え、“横浜市幼稚園就職

フェア”を開催することといたしました。ぜひ多くの幼稚園のご参加をお願いいたします。

開催日：2015年8月9日(日)

会場：新都市ホール（横浜そごう 9階）

対象者：養成校学生・横浜市内幼稚園への就職希望者

入場者：予約不要・入場無料

幼稚園：各園ブースを設置予定（各区ごと）

# 防犯危機管理研修会報告

平成26年10月22日(木)



## ◆ テーマ：幼稚園の危機管理

～平成23年に発生したプール事故を中心に～

◆ 講師：横浜市幼稚園協会顧問弁護士(横浜港和法律事務所) **田中 弘人** 先生

◆ 会場：かながわようちえん会館 会議室

平成23年度に県内で発生したプール事故を検証することで、保育中の園児の事故を防ぐためには日頃からのようにすべきかを、横浜市幼稚園協会顧問弁護士である横浜港和法律事務所の田中弘人先生に講演いただいた。

事故発生当日は、プールの水を交換したために、水を溜めるのに時間がかかり指導が遅れて始まる。水深20cm程のプールで、3歳児クラスが遊び終えた後に、新任の担任が一人で園児に背を向けた格好で用具の片付けを壁に向かって行い、振り返ったら水に浮いている男児に気付く。担任はプールから男児を引上げ、幼稚園の事務所に運ぶ。園長は男児の頭を下にして水を吐かせる。濡れた水着を下着に着替えさせて近くのクリニックに運ぶ。クリニックの医師は男児が心肺停止と判断し、人工呼

吸と心肺蘇生をしつつ119番通報し、救急病院に搬送したが死亡が確認された。

### ☆事故後の経緯(刑事事件)

検察官による起訴内容→被告人は教諭・園長。罪名は業務上過失致死罪。教諭は認否を認める。園長は争う。

### ☆事故後の経緯(民事事件)

原告の園児の両親は学校法人・園長・担任他に7400万円の損害賠償請求をする。争点は注意義務(安全配慮義務)違反の有無、損害賠償金額。

### ★予見すべき事項

- ・うつぶせ状態ではわずかな水深でも口と鼻が水没すると大事故に至る。
- ・幼児の溺水は短時間に静かに進行する。
- ・幼児は気管に水が入ると体が動かなくなりやすい。

### ★同様の事故を繰り返さないために

- ・プールの入水中は指導担当と監視担当を分けて2人配置する。
- ・溺水事故を想定し、救急体制を確立する。
- ・自己対処マニュアルをつくる(AEDの配置と活用)。
- ・過去の保育上の危険を感じたことを共有し、緊急事態に備える。
- ・消防署の救急講習の実施と継続的な自主訓練を実施する。
- ・園児を事故、災害から守る安全対策の手引き(日私幼)の活用。

### 問題のまとめ

保育中は「園児の安全を最優先する意識を職員間で確認し、事故の発生を防ぐための研修と、継続的な職員の自主訓練により万が一の対応に備える。

## Congratulations!!

## ～各表彰の受賞者紹介～

### 瑞宝双光章



**渡井 和佳**先生  
宗教法人定光寺  
マヤ幼稚園  
代表役員・園長

※瑞宝双光章：国及び公共の公務等に長年にわたり従事し、功績を挙げられた方に対して、国家が表彰する勲章。

### 文部科学省教育者表彰



**渡邊 真一**先生  
学校法人初音ヶ丘学園  
初音丘幼稚園・  
スカイハイツ幼稚園  
理事長・園長

※文部科学省教育者表彰：国立学校、公立学校及び私立学校(大学及び高等専門学校を除く)の校長、園長又は教員であって、学校教育に関し顕著な功績のあった者に対して、文部科学大臣が表彰する。

### 県民功労者表彰



**丸山 征**先生  
学校法人まるやま学園  
かおり幼稚園  
園長

※団体や地域の活動などを通じて社会福祉、保健衛生、産業、経済、教育、文化、生活環境、ボランティア活動など各分野で長年にわたり活躍し、特に優れた業績をあげられた方に対する県の表彰。

## 編集後記

ひつじ年がやってきました。ひつじはおとなしいイメージですが、頭突きをして子供をひっくり返すところをTVで見たことがあります。窮鼠猫を噛むみたいなものではないでしょうか。でも、羊が歩

いた土地は肥沃になるとも。今年から新制度が始まります。皆様にとって良い1年になりますように。英語では複数になってもSeep。塊で数えるからとか。みんなでかたまってる力を蓄える年になるのでしょうか。(広報部 浅沼 郁子)